

令和7年度当初予算のポイント

①水道基本料金等減免

エネルギー等の価格高騰に直面する市民・事業者を支援します！！

「公共料金等負担軽減事業」 **237,218千円**
 (システム改修費 1,066千円含む)

1期・2か月分 (令和7年4・5月徴収分) 減免

■減免額の例： 一般家庭 (口径20mm) の場合(税込)
 水道料金 1期 (2か月の基本料金) 1,144円
 下水道使用料 1期 (2か月の基本使用料) 1,298円
 合計2,442円

②金岡川改修工事

「雨水幹線等整備事業」 **134,800千円**

金岡川は平成8年に土地利用形態等の環境変化に伴う雨水計画の見直しにより、金岡雨水幹線として計画変更を行い、上流部は貯留管の整備を行ったが、最下流部の約1.1km区間については断面改修による排水能力の強化が必要とされている。

この度、放流先の尼崎市域の庄下川の改修工事が令和7年度に完了することにより、防災安全交付金を活用した計画降雨対策として金岡川の護岸改修工事に着手するものである。

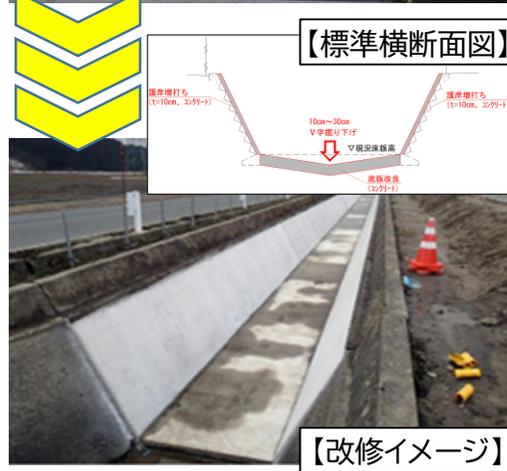
なお、令和7年度から令和10年度までの4カ年での工事を計画しており、年度毎の実施箇所は右図のとおり。

【事業年度割】

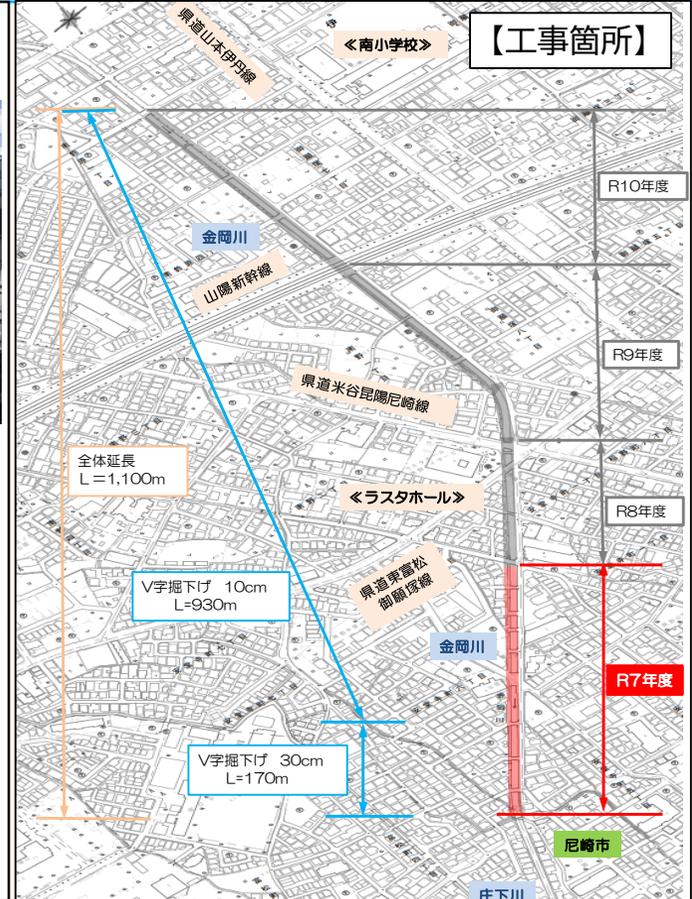
事業年度	R7	R8	R9	R10	合計
工事延長 (m)	350	155	315	280	1,100
概算工事費 (百万円)	134.8	72.0	114.0	110.0	430.8

【工事概要】

(1)護岸増打 (2)底版改良



【改修イメージ】



令和7年度当初予算のポイント

③下水道ウォーターPPP発注支援業務 「下水道ウォーターPPP事業」 27,500千円

令和7年度に依頼する発注支援業務の主な内容は下図のとおり。

【実施スケジュール】



④汚水管渠簡易耐震診断業務 17,800千円

市内全域の汚水管渠を対象に土質、布設年次、管種等の条件から耐震性の有無を確認する。

【実施スケジュール】
令和7年度:簡易耐震診断
令和8年度:詳細耐震診断
令和9年度以降:設計・工事

⑤汚水管渠調査業務(令和6年度2月補正) 49,000千円

汚水管渠の劣化・損傷状況を把握するため、TVカメラ車による調査を約17km行う。加えて、他府県で発生した陥没事故を受け、腐食等の危険性が高い箇所の法定点検を60箇所実施する。

⑥川柳コンテスト 「川柳コンテスト実施事業」 70千円

令和6年度には新たな取り組みとして「健康と水道水」というテーマでの講演会を開催し、好評をいただいた。多くの幅広い層に興味関心をお持ちいただくため、川柳コンテストを実施する。

水にまつわる出来事などに、ユーモアや風刺を取り入れて表現した川柳作品の募集を通じて、多くの市民に「上下水道」について考える一助を目的とする。

【実施スケジュール】

募集期間:令和7年7月～8月

選考期間:令和7年9月

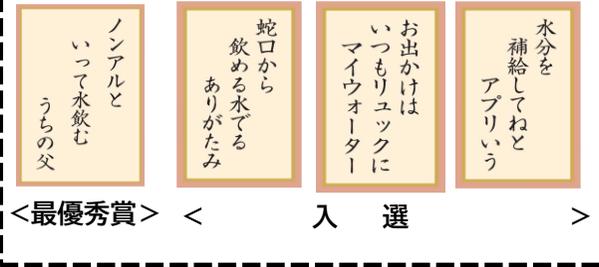
受賞通知・表彰:令和7年10月

局広報紙(いたみの上下水道11月1日号)で
結果発表(作品・氏名・表彰風景写真掲載)

◆参考◆

第8回「健康のため水を飲もう」川柳入賞

(株式会社水道産業新聞社主催:「健康のため水を飲もう」推進委員会)



<最優秀賞> < 入 選 >



⑦応急給水等災害対策の推進

(1) 応急給水活動実地訓練の推進体制の整備

令和6年度に設置完了した学校受水槽応急給水栓(22校)の使用方法や水質検査方法について、各学校ごとに整備・配置した応急給水マニュアルに基づき地域の皆様にご協力をいただき、地域が実施する地域防災訓練の一部に取り上げていただく等、地域、学校と連携を図る中で応急給水訓練に取り組む。

(2) 給水車の購入 19,764千円(一般会計繰出1/2)

自動車運転免許制度の改定等により、現在本局が所有している給水車(重量5t(2,000ℓタンク))を運転できる職員が減少しつつある。有事の際に応急給水活動が迅速に行える体制を整えるため、給水車の仕様を見直し、現行の運転免許で運転可能な3.5t未満クラス(1,000ℓタンク)の給水車を新規購入する。

購入費の1/2について、令和7年度より創設される公営企業債(防災対策事業)を活用する。後年度の元利償還金に対して一般会計の繰出措置の対象となる。(うち70%が交付税措置される。)